

(CM天気図) 野暮はやだね

オリンピックだそうで。

地球村の運動会を若い人たちが楽しむのは大いにけっこうだが、いいトシをした大人が、やれ経済効果がどうの株がどうのと、カネの話にばかり夢中になっているのは、野暮(やぼ)だし、みっともない。

ま、儲けるのは悪いことじゃないが、みっともないのは困ったもんだ。日本のど真ん中の日本橋。前の東京オリンピックの時に、あの日本橋の上に高速道路をかけてしまったのは、いくら突貫工事だったからって、みっともない。こんどのオリンピックの儲けで、いまの高速道路は地下に移し、日本橋に元の空気を吸わしてやりたいもんだ。

それと、オリンピックに便乗するCMが、これからどっと出てくるんだろうね。便乗はCMのお家芸だから、悪くはない。が、問題は便乗の才気だね。オリンピックにおんぶにだっこの、みっともない便乗は、野暮だし、オリンピック精神にも反する(かな)。

それで思い出したが、作家の山口瞳さんがサントリーの宣伝部にいた年、ちょうど前の東京オリンピックがあった。観光客であふれる東京。そんなとき、山口さんはトリスウイスキーのこんな新聞広告を書いている。

「みんな、山を見る／オレ、川を見る／みんな、東京に集る／オレ、旅に出る／テレビで観る／トリス飲む」

そのコピーに、旅先の宿でトリスを飲みながらテレビでオリンピック中継を見ているアंकルトリスの絵。そこにあるのは、オリンピックブームに背は向けてもオリンピックはちゃんと見てるぜという男の姿だ。粋だねえ。

便乗をするなら、このくらいカッコよく乗らないと、CMのメダルはとれないんじゃないの？

(天野祐吉:コラムニスト)